

06.『エピローグ～エルフさんとの別れ』

【とある深い森の中で...】

...本当に、ゆかれるのですか？

そうですか...。

お体はすっかり、戻られたのですね。よかった...。

巫女として、あなた様のお役に立てたこと...心よりうれしく思います。

この道をまっすぐ進んでゆけば、森の出口にたどり着きます。

そこから川ぞいに歩いてゆけば、ほどなく村にたどり着くでしょう。

旅人様。重ね重ね...森を、ありがとうございました。

わたくしがお力添えできるのは、ここまでです。

どうか道中、お気をつけて。

旅のご無事を、祈っております...。

...旅人様！

わたくしは...わたくしは、あなた様とともに、生きていきたいのです。

...外の世界は、悲しみに満ちています。

それでもなお、ゆかれるのですか...？

外の世界へ戻って行って、また、傷だらけになって...。

そんなこと...そんなこと、考えただけで...。

...ふふ、ごめんなさい。

わたくしったら、自分のことばかり。

承知しております。

なすべきことが、あるのですね...？

わたくしは、この森から出ては生きられません。

ですがどうか、忘れないで。

この心はいつでも、あなた様のことを思っています。

どれだけ遠く離れていても、土と、木々と、このメナリが、旅のご無事を祈っています。

戦い傷つき、心すさむときは...どうかあの泉を、思い出してください。

あなた様のゆく先に、神のご加護があらんことを...。

えへへ...。

どうかお気をつけて、いってらっしゃいませ。

わたくしのいといい...旅人様。